

来たれ!

脊椎外科医と

骨盤外科医

ここまでできる 脊柱変形と骨盤骨折のMIST

(Minimally Invasive spine Stabilization: 最小侵襲脊椎安定術)

座長

佐藤 公治 先生

名古屋第二赤十字病院 副院長
整形外科・脊椎脊髄外科部長



講師

原田 智久 先生

洛和会 丸太町病院 整形外科 部長
脊椎センター センター長



2016年

4月8日(金)
15:00～16:30

アクトシティ浜松 3F大ホールホワイエ

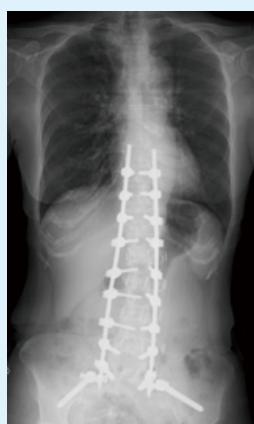
定員

12名

学会ホームページより事前にお申込み下さい。



術前



術後

成人脊柱変形に対するPPSを用いた矯正固定術の一例



ZIMMER BIOMET
Institute

セミナー詳細は裏面をご参照下さい。

裏面へ

〈セミナー内容〉

本セミナーでは、PPSをこれから始める先生から成人脊柱変形をMISで治したいベテランの先生までを対象に、PPSの基本からLIFとPPSを用いた脊柱変形矯正および骨盤外傷に関するコツとピットフォールをご講演頂き、ハンズオンワークショップを行います。

〈プログラム〉

15:00-15:50 講義&デモンストレーション

15:50-16:30 ワークショップ

モデルボーンを用いて、成人脊柱変形の矯正、及び腸骨スクリューの手技を体験して頂きます。

講師コメント

近年、最小侵襲脊椎安定術(minimally invasive spine stabilization: MIS)が注目されているが、この術式に欠かせないのが経皮的椎弓根スクリュー(percuteaneous pedicle screw: PPS)法である。この手技は単なる腰椎変性疾患のみでなく、脊椎・骨盤外傷、脊椎感染、転移性脊椎腫瘍、さらには脊柱変形にまで応用されるようになってきた。本セミナーでは、MISの初心者からエキスパートまでを対象に、PPS挿入の基礎から様々な疾患への応用までを含めて、実践的な手技を解説する。

講師 原田先生 ご略歴

1996年 京都府立医科大学医学部医学科卒業
2008年 京都府立医科大学附属病院 整形外科・助教
2011年 丸太町病院 脊椎センター長
2014年 丸太町病院 整形外科部長

